

11/25-12/1#12 神聖な三一、イエスの霊、神の王国

CP1 三一の神(父、子、霊)は、御子の昇天とその霊の注ぎ出しに完全にかかわっていました**使徒2:32** このイエスを、神は復活させました。私たちはみな、そのことの証し人です。**33** 彼は神の右に引き上げられ、御父から約束された聖霊を受けて、あなたがたが見聞きしているものを、注ぎ出されたのです。**21** そして、主の御名を呼び求める者はすべて救われる。**IA1** 御子は昇天し、御父は彼を引き上げ、その霊は注ぎ出されました。

聖書は私たちに、キリストが昇天したと告げています。しかしそれはまた、彼が神によって引き上げられ、高く上げられたとも言っています。神が彼を引き上げられた後、聖霊が弟子たちの上に注ぎ出されました。御子は昇天し、御父は彼を引き上げ、その霊は注ぎ出されました。三一の神(父、子、霊)は、昇天とその霊の注ぎ出しに完全にかかわっていました。御子の死には三一の神が含まれました。御子の復活には三一の神が含まれ、御子の昇天と引き上げられることにも三一の神がかかわっていました。父、子、霊は御子の昇天とその霊の注ぎ出しと緊密に関係していました。

CP2 イエスの霊**16:6** また、彼らはアジアで御言を語ることを、聖霊に禁じられたので、フルギヤとガラテヤの地方を通って行った。**7** 彼らがムシヤに来た時、ビテニヤに入って行こうとしたが、イエスの霊が彼らを許さなかった。**IB3** 私たちが主のためにどのような種類の働きを行なうかは、私たちがどのような種類の霊によって案内され、導かれ、教えられ、構成されるかにかかっています。すべてを含む霊が私たちの構成となる時、私たちの働きはこの霊の表現となります。

使徒パウロと彼の同労者たちの福音の拡大のための行動は、彼らの決定や好みにしたがっておらず、人の会議によってなされたいかなる計画にもしたがっておらず、...神の協議にしたがった聖霊によるものでした。彼らはアジアで言葉を語るつもりでしたが、聖霊はそれを禁じました。禁じることも聖霊の導きの一部分です。聖霊が禁じたこととイエスの霊が許さなかったことは、パウロと彼の同労者たちがマケドニアとアカヤに向かって真っすぐ進むべきであったことを示しました。...しかし、パウロにはそこへ行く考えはありませんでした。これは、主が夜中に一つのビジョンを与える必要を生じさせ、このビジョンの中で一人のマケドニア人がパウロに来るようにと招きました。

証① 兄弟姉妹と魚崎駅に福音に出て行った時、あるグループの兄弟姉妹が2人の大学生に声をかけて御言葉を宣べ伝えていました。ちょっと長

く話していたので、私も加わりました。私は彼らを集会所に誘いましたが、彼らは、これからテニスに行くので行けないと言いました。先に声をかけていた兄弟姉妹もすでに集会所に誘って断られていました。この時、もう一人の兄弟が来て、教会に行ってみませんかと言いました。私は、「彼らはテニスに行くので行けないそうです」と言おうとしましたが、私の内側に止める声があったので、口に出しませんでした。結果として、その2人の学生は3回目に誘われた時、テニスに行くのを遅らせて、私たちと一緒に魚崎集会所に行くことになりました。そして福音を聞いてその場でバプテスマされました! ハレルヤ! 禁じることも聖霊の導きの一部分です。

祈り おお主イエスよ、使徒パウロと彼の同労者たちの福音の拡大のための行動は、彼らの決定や好み、人の計画にしたがったものではなく、聖霊によるものでした。彼らが左側のアジアへ行くことも、右側のビテニヤに行くことも禁じられたので、マケドニアへの直進コースを取り、そこで福音を伝え、召会は興されました。いつでも聖霊の導きを聞いて、従うことができますように。

CP3 主の御名を呼び求めてその霊を受ける**ローマ10:12** 彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。

IID キリストの霊がキリストの実際であるように、イエスの霊はイエスの実際です。**2** イエスが私たちにとって実際であるのは、私たちがイエスの霊を、イエスの実際また実際化として持っているからです。

主は豊かであり、彼を呼び求めるすべての者に豊かです。主の豊富を享受する道は、彼を呼び求めることです。主は豊かであるだけでなく、同じ章の8節で述べられているように、近くて便利です。なぜなら、彼は命を与える霊であるからです。その霊として、彼はどこにでもおられます。いつでもどこでも、私たちは彼の御名を呼ぶことができます。私たちが彼を呼び求める時、彼はその霊として私たちに来られ、私たちは彼の豊富を享受します。あなたがイエスを呼び求める時、その霊が来られます。

CP4 神の王国**ルカ17:20** イエスは答えて言われた、「神の王国は見える様では来ない。**21** なぜなら、見よ、神の王国は、あなたがたの間にあるからだ。」

IID 神の王国とは、命としてのキリストがご自身の信者たちの中へと拡大して、神がご自身の命の中で支配する領域を形成したものです。**1** この王国の中へと入るために、人々は自分の罪を悔い改め、福音を信じて、彼らの罪が赦され、神によって再生されて、この王国の神聖な性質と符合する神聖な命を持つ必要があります。**2** キリス

トにあるすべての信者は、召会時代にこの王国にあずかり、神の義と平和と聖霊の中の喜びとにおいて、神を享受することができます。

神の王国とは何でしょうか？ 神の王国は人の目に見える物質の王国ではありません。神の王国は神聖な命の王国です。... 神の王国は神の支配、統治であり、すべての祝福と享受を伴います。それは神の福音の目標、またイエス・キリストの福音の目標です。この王国の中へと入るために、人々は自分の罪を悔い改め、福音を信じて、彼らの罪が赦され、神によって再生されて、この王国の神聖な性質と符合する神聖な命を持つ必要があります。... キリストにあるすべての信者は、召会時代に王国にあずかり、神の義、平和、聖霊の中の喜びにおいて神を享受することができます。... 神の王国は召会の実際であり、それは福音を通して、キリストの復活の命によって生み出されます。再生はその入り口であり、信者たちの内側の神聖な命の成長はその発展です。神の王国とは、救い主ご自身が、命の種として彼の信者たち、神の選ばれた人々の中へとまかれ一つの領域へと発展して、神が彼の神聖な命の中で、彼の王国として支配することです。

証② 私は神の王国について理解するために、以下の御言葉が助けになりました。[ローマ14:17](#) **なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。** [ガラ5:19](#) **さて、肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、[20](#) 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、[21](#) ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。それらについて、私は前にも言っておいたように、今もあらかじめ言っておきます。そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。** [啓11:15](#) **第七の御使いがラツパを吹いた。すると、天に大声があつて言った、「世の王国は、私たちの主とそのキリストの王国となった。彼は永遠にわたって支配される」。**ローマ書は、今の時代の召会が王国の実際であり、ガラテヤ書は、勝利者に対する褒賞として来たるべき王国を享受することを言っています。今日私たちが、召会生活の中で王国の実際の中を生活しているなら、将来、王国が出現した時、王国の享受を受け継ぎます。

この王国の認識をもって会社で働くと、会社の中の多くの暗闇の働きに鋭敏な感覚があるようになりました。会社で地位が高くなると、それを利用した多くの不義な働きがありました。例えば、本部長や事業部長は、部下たちを無理やり夜の飲み会に連れて行き、威張り散らしていました。また、

飲み会と並行して淫行が横行していました。

私はこのような状況下で、夜の飲み会を断りました。サタンは私を何度も脅迫して、「会社におれなくしてやる」と私の魂に訴えてきました。私は断りましたが、大変悩まされ、弱くなっていました。そのような時、私が霊に戻り、状況について主に開いて交わっていると、信仰が注入されました。私は主の御名を呼び、信仰によって、「**主イエスよ、私は王国の実際を持つために義を実行します。内住するあなたは、義を生きる命です。不義を実行しなければ出世できないのなら、私は義を実行して、出世しない道を選択します。サタンよ、私から退け!**」と宣言し、解放されました。私が不義から離れ、義を実行する時、主が守ってくださったので、飲み会に行かないことが、私の仕事のキャリアに消極的に影響することは全くありませんでした。義を実行するとは、実際にはキリストを生かし出し、キリストを生きることであるので、職場の実際的な環境の中で、義なる命であるキリストを経験し、享受できました。また、この生活は結婚を尊ぶ生活でもあり、召会の中で妻と一つ思いで組み合わせられて奉仕するためにも必須でした。ハレルヤ! 神の支配の領域、神の王国の中で、私は主の勝利を経験することができました。

証③ 11月の台湾ブレンディングをととても享受しました。最初台北の北投に行つて、その後文山の第二、第三地区、信義大区の第6集会所と大安大区の第8集会所を訪問しました。どこに行つても、兄弟姉妹が一つ心で、生活の中で福音をしていて、すばらしいと思いました。神の王国は福音を通して、キリストの復活の命によって生み出されます。第6集会所の張兄弟の増小組の証しは一番印象に残りました。兄弟が人を神の王国にもたらすために、最初自分たち夫婦と、救われて2年目の夫婦と一緒に、**①** 祈り、**②** 名前リストを書き、**③** 接触し、**④** 愛宴することを継続的に実行し、多くの人が救われて、4人のバイタルグループから、3つの小組まで増やしたという証を聞いてとても励まされました。彼らの生活は福音です。張兄弟の生活の中で接触する銀行員、娘さんのピアノの先生、ベビーシッター、飛行機で隣に座った人にも福音を伝えて救われ、神の王国に入りました。ハレルヤ! 主に感謝します。

祈り おお主イエスよ、あなたの命が私の中でさらに成長し、発展することができますように。私の生活が主によって支配され、生活の中で主を生き、友人のために祈り、福音を宣べ伝えることができますように! 神戸でも多くの人々が救われ、あなたの王国が拡大されますように!